



# 愛知の伝統野菜「天狗ナス」の仕立て法を確立

## －側枝1芽1果切り戻し整枝法で増収－

### 開発の背景・ニーズ

愛知の伝統野菜「天狗ナス」は、設楽町津具地区で古くから栽培されています。出荷サイズが、一般的に見かけるナスの4倍以上（400g以上）もあり、このような大きさになっても果肉は非常に柔らかいのが特徴で、山間地のブランドとして評価を得ています。果実が非常に大きいことから、慣行では主枝に直接ついた果実のみを収穫していますが、収量向上に向けて、側枝に着果した果実も収穫する仕立て方法について検討を行いました。

### 成果の内容

- 主枝のみに着果した果実を収穫する方法（慣行法）と、側枝に着果した果実も収穫する方法（下図：側枝1芽1果切り戻し整枝法）を2年間比較検討したところ、慣行法の1.5～1.9倍の収量が得られました。
- 側枝1芽1果切り戻し整枝法は、慣行法より主枝から収穫できる数はやや減りますが、側枝からも多くの果実が収穫できます。
- 主枝に近い部分まで切り戻すことで、果実の重みによる側枝の折れを減らすことができます。

側枝1芽1果切り戻し整枝法

天狗ナス

### 愛知県農業への貢献

愛知の伝統野菜である「天狗ナス」の仕立て法の改善により、生産量の向上や販売拡大につながることを期待されます。